

報道関係各位

2024 年 6 月 12 日

工学院大学、中銀カプセルを発展させた最新カプセルトレーラーを開発

工学院大学(学長:今村 保忠、所在地:東京都新宿区／八王子市)の鈴木 敏彦 教授(建築デザイン学科)は、株式会社淀川製鋼所と共に、CLT CAPSULE 2024 を開発しました。中銀カプセルタワーのカプセルを移動可能な形状に進化させた 2 作目で、6 月 12 日(水)から 6 月 14 日(金)まで東京ビッグサイトで開催される「第 28 回リフォーム&リニューアル 建築再生展 2024」(主催:建築再生展組織委員会)において実車両を公開します。



CLT CAPSULE 2024 外観(上段)、内観(下段左)、使用イメージ(下段右)。写真:新良太

建築から車両へ／鉄骨造から木造へ／次世代型 CLT カプセルの誕生

中銀カプセルとは

2022 年4月に中銀カプセルタワービルの解体が始まり、9月に二十数体のカプセルが取り外されました。2023 年、淀川製鋼所はその一つを譲り受け、動くトレーラーカプセルへと再生し、東京、大阪、名古屋の展示会で公開しました。建築家の黒川紀章が 50 年前の昭和に提唱したカプセルのコンセプトは、今なお人々を魅了します。彼がホモ・モーベンスと名付けた人々が、移動し、暮らし、働き、遊ぶための要素が、近未来的でコンパクトな空間に詰まっていた。

建築から車両へのリデザイン

このカプセル建築の思想を次世代へ継承し、リデザインしたものが、2024 年の CLT カプセルです。国産のスギ材を使用した CLT は、森林の保全や、温室効果ガス排出量の削減に貢献します。外装は複合塗膜防水層として白く仕上げ、従来のカプセルと同じように見えますが、内装はウッディでリラックスした趣があります。LED 照明や最新のデジタル機器を内蔵したインテリアが、現代人の遊び心に応えます。移動可能な CLT カプセルは、ニューノーマルの他拠点生活や、グランピングに活躍するトレーラーハウスです。

■出展技術詳細

研究テーマ	建築の移動可能性に関する研究
研究者	鈴木 敏彦(工学院大学建築学部建築デザイン学科、教授)
技術の特徴	CLT 構造、高強度ウレタン・ゴムアス複合塗装、特注シャーシ、次世代家具・調光調色
協力企業	株式会社淀川製鋼所 銘建工業株式会社 エフワンエヌ株式会社 トレーラーハウスデベロップメント株式会社 株式会社多田木工製作所 株式会社 遠藤照明
研究者紹介サイト	https://er-web.sc.kogakuin.ac.jp/Profiles/9/0000831/profile.html

■第 28 回リフォーム & リニューアル建築再生展 2024 開催概要

第 28 回テーマ	GX・DX 推進がひらく建築ストックの未来 -SDGs の達成に向けて-
日時	2024 年 6 月 12 日(水)-14 日(金) 10:00-17:00 ※最終日は 16:30 まで
会場	東京ビッグサイト 東 1 ホール ※工学院大学出展ブースは小間番号 14
入場料	1,000 円(税込)／招待券・事前申込者は無料)
公式サイト	https://rrshow.jp/2024/

<研究に関するお問い合わせ>学校法人工学院大学 総合企画部研究推進課／担当:堀口

TEL: 03-3340-3440／ e-mail: sangaku@sc.kogakuin.ac.jp